

## 第 24 回青年対策交流集会 感想文

2024 年 2 月 29 日から 3 月 2 日の 3 日間に渡り、第 24 回青年対策交流集会が大坂にて開催されました。今回関西地方青年部が主体となつての開催、かつ私は初めての青年対策交流集会に参加とのこともあり大変戸惑いもありましたが、同じ地方の諸先輩方のお陰で滞りなく全日程を終えられたこと、感謝申し上げます。

まず 1 日目ですが、中央松永書記長の「港湾産別について」の講義から始まりました。我々が所属する全港湾の意義や歴史、またかつての先輩方の闘争を知り、我々の待遇や生活が当たり前にあるものでない。先人の方たちが築き上げたもののお陰であると再認識することが出来ました。次に各地方青年部の活動報告があり、各地方が抱えている問題の共有や、年間の活動報告を受け、私たちのこれから活動の選択肢を増やす知識を得ました。その後関西地方各支部による IR 学習会があり、IR 誘致することによって考えられる影響を海外の IR 事業の成功例と失敗例またインフラ面、経済面、と多角的に考察されておりました。上記学習会がありましたので、2 日目に行われた分散会では IR を様々な視点から考察でき、活発な議論を行うことが出来ました。

私は今回青年対策交流集会に初参加でしたが、全国にこれだけの同世代の仲間がいるということが確認できました。頼もしい仲間の存在がこれからの活動の励みとなります。

最後になりますが、今回青年対策交流集会にお集まりいただきました皆様方、お疲れ様でした。

関西地方 築港支部  
執行委員 中西駿介